

◆石塚克彦三回忌&遺稿集『ミュージカルへのまわり道』発刊記念◆

劇団ふるさときゃらばん  
脚本・演出家

石塚克彦が描いた絵画の世界

期日：10月23日（月）～11月9日（木） ★入場無料

10:00～19:00（平日）／11:00～17:00（土曜）／祝祭日休み

場所：農文協・農業書センター（東京・神保町／東京メトロ・都営 神保町駅 A6 出口より徒歩 30 秒）

▼石塚克彦（享年 78 歳）。生前、彼と親しく接した人たちは彼のことを「克ちゃん」と親しみを込めて呼ぶ。克ちゃんは画家を志して武蔵野美術学校（現・武蔵野美術大学）に入るものの、授業ポイコット事件などでやむなく中退、舞台美術の担当として演劇の世界（新制作座）に入る。その後、統一劇場を経て劇団ふるさときゃらばんを設立するのが 40 代半ば。長い「まわり道」の末、同劇団で庶民派ミュージカルの脚本・演出家としてキャリアを積み、確たる評価を得る。農村を舞台に農家を主人公にした「カントリーミュージカル」、都会に働くサラリーマンの世界を描いた「サラリーマンミュージカル」、幼少期に「体験」した物怪や妖怪の世界を物語りとして描いた「ファンタジーミュージカル」など約 60 作品を創作する（うち 14 作品が NHK に映像として残っている）。

▼数々の脚本を創作し、舞台演出を行う合間に、克ちゃんはダンボール箱や電化製品の箱を解体した裏などに、自らのミュージカルの世界をイメージして多くの絵を描いていた。身近な人たちにも見せることのなかったこれらの絵は、死後彼の仕事場から数多く見つかった。彼の遺稿集『ミュージカルへの回り道』発刊記念として、そのユニークな作品の数々を、画家を目指していた頃から描いてきた絵画とともに展示する。



▲上：ダンボール箱の裏に描いた「信濃川物語」 ▼左下：「コードレスレーダー探知機」の箱（同絵の右下）を解体した裏に描いた絵。絵柄からすると上の「信濃川物語」と同時期の制作か ▼右下：自らのミュージカルが目指す方向性を言葉にした色紙

スライド&  
トークショー

はなぶさ しんぞう  
写真家・英 伸三が撮った

入場無料 事前申込不要

# 石塚ミュージカル・ふるさときゃらばんの世界

期日：11月8日(水) 19:00~20:10(予定) 出演：英伸三、寺本建雄(ゲスト/予定)

場所：農文協・農業書センター(東京・神保町/東京メトロ・都営 神保町駅 A6 出口より徒歩 30 秒)



通りぬれも観客の視線にひらき笑顔をもち、(原典/高橋邦子)



通りぬれも観客の視線にひらき笑顔をもち、(原典/高橋邦子)



『ふるさときゃらばん』の舞台。原典/高橋邦子、演出/寺本建雄、撮影/英伸三、(原典/高橋邦子)

ふるさときゃらばんの世界 原典/高橋邦子 演出/寺本建雄 撮影/英伸三 (原典/高橋邦子)

▲石塚克彦著『ミュージカルへのまわり道』第二幕「ふるさときゃらばんの世界」(写真・文:英伸三)より(収録予定ページを転載)

土門拳などが有志で設立した写真学校「現代写真研究所」所長として、プロ・アマをこえて写真による社会的発言ができる表現者を育成する写真家・英伸三氏。1960年代より農村問題などを通じて日本社会の姿を追い続け、その途上で農村問題に題材を求めて演劇活動を行う「ふるさときゃらばん」に出会う。彼らの描く農民像や地道に公演を組織する活動に惹かれ、1986年から劇団に同行して公演を撮影、写真集『英伸三が撮ったふるさときゃらばん』『祭・みゅーじかる』にまとめている。その作品から何枚かをスライドで上映しつつ、ふるさときゃらばん下座バンドリーダー・作曲家として活躍した寺本建雄氏と、石塚ミュージカルの創作現場のエピソードなどを語り合う。

11月末完成予定 ただ今ご予約受付中!

石塚克彦が遺した珠玉の遺稿集

石塚克彦 (脚本・演出家) 著

## ミュージカルへのまわり道

[写真・英伸三/絵・石塚克彦]

農文協発行 四六判・572頁(予定) 3,500円(税別)

本書は、彼が劇団ふるさときゃらばんの季刊誌『ふるさときゃらばん』に15年間(1994~2008年、全40回)にわたって綴ってきたエッセイを再編成し、ゆかりの人たち(評論家、演出家、劇作家、マスコミ関係者など)から「回想」を寄せてもらう。日本土着の庶民派ミュージカルを目指した石塚の大衆芸能論が、そのバックボーンとなる幼少期から青年期に出会った芸事や出来事、恩師や先輩諸氏に絡んだエピソード、またミュージカル創作・上演過程での物語りなどを通じて、熱く語られる。石塚ファン待望の大著がいよいよ今秋刊行!

出版記念パーティー

&  
三回忌 イベントのご案内

元劇団員がミュージカルナンバーを披露。  
『ミュージカルへのまわり道』も先行販売。

▼日時：11月26日(日)

▼場所：(一財)日本カメラ財団6階ホール(地下鉄半蔵門駅徒歩3分)

▼会費：一般1万円(本代込み) / ふるさときゃらばん出版する会会員6千円(定員になり次第締切)

▼申込み・問合せ先：ふるさときゃらばん出版する会 FAX042-384-6472(事務局：ひらつか順子 携帯090-7207-3921)



農、園芸、食、地域づくりの専門書店

農文協・農業書センター

TEL:03-6261-4760 神保町 A6 出口 サンドラッグ 3F

営業時間：平日 10時~19時、土曜：11時~17時 日祝日休業

